

# JAERA

# NEWS LETTER

一般社団法人日本自動車リサイクル機構 ニュースレター

- 巻頭言… P1
- 2023年度自動車リサイクル士講習会の開催決定！～合格者にインタビュー～… P1,P2
- 第11回 業界景況調査の結果について… P3,P4,P5 □ブロック会議の開催結果… P5
- 2022年度 駆動用HVバッテリー共同出荷事業3月出荷状況と今期累計/3月新車販売  
・使用済自動車発生台数… P6
- 鉄スクラップ最新情報… P7 □行事予定・お知らせ/編集後記… P8

vol.170

## 2023年度自動車リサイクル士講習会の開催決定！ ～合格者にインタビュー～

01

2023年度の自動車リサイクル士講習会の開催が決定しました。前回同様、新たに自動車リサイクル士を目指す方の「新規講習会」、既に資格をお持ちで今年有効期限を迎える方向けの「更新講習会」の2種類の講習会を開催いたします。詳細は別途ご案内させていただきますが、今号では現時点で決定している講習会概要をお伝えいたします。

### ■新規講習会

【対象】新たに自動車リサイクル士の資格を取得される方

【開催方法】

- ・講習会：WEBでの受講（講習動画を視聴）
- ・修了試験：会場で受験（全国8会場で実施）

【申込期間】2023年6月12日（月）～7月20日（木）予定

【詳細案内】6月初旬に機構ホームページ等でご案内予定

【試験会場】

- 10月開催：札幌 仙台 東京 名古屋 大阪 岡山
- 11月開催：福岡 沖縄



### ■更新講習会

【対象】2023年に資格の有効期限を迎える方（116名）

【開催方法】WEBでの受講（指定日に配信されるライブ講習を視聴）

【開催回数】2023年12月8日（金）・2024年2月9日（金）のどちらか1回のみ受講

【申込期間】

- ・1回目：～2023年7月31日（月）
- ・2回目：～2023年9月15日（金）

【詳細案内】6月初旬に更新対象者の皆様にダイレクトメールでご案内予定

開催方法は前回（2022年度）と同じとなりますが、新規講習会の試験会場に大阪会場が追加となりました！**どちらの講習会とも次号のニュースレターで詳細をご案内する予定です。**

## 巻頭言

3年ぶりに日本唯一の自動車アフターマーケットの国際展示会「第20回国際オートアフターマーケットEXPO2023」が東京ビッグサイトで開催されました。こちらは、自動車のアフターマーケットビジネスの活性化を図ることを目的に、自動車のメンテナンス、EV・電動モビリティの展示や試乗会、水性塗料の塗装実演、今年に始まった車検証の電子化などに関する様々な展示がされており、今後の自動車業界を取り巻く環境やインフラが大きく変遷していくのだということを肌で感じました。

最近では、水素とCO2を合成して製造される、合成燃料（E-fuel）が話題となっていますが、私たちの業界でも、カーボンニュートラルや国内の資源循環などにオールジャパンで取り組むことが重要であるということに改めて認識しました。

〈広報部会 伊地知 志郎〉

《編集・発行責任者》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構  
広報部会長 田村 幸男

《お問い合わせ先》

一般社団法人日本自動車リサイクル機構  
〒105-0004  
東京都港区新橋3丁目2番2号  
TEL: 03-3519-5181  
FAX: 03-3597-5171  
MAIL: jaera-homepage@elv.or.jp  
HP: http://www.elv.or.jp/

# 2023年度自動車リサイクル士講習会の開催決定！ ～合格者にインタビュー～

# 01

昨年の新規講習会では**218名**もの方々が試験に合格され、新たな自動車リサイクル士として現場でご活躍されています。今回は講習会を受講した感想や自動車リサイクル士の資格が現在どのように役に立っているかなど、昨年の合格者の方にインタビューをしました！今回、インタビューにご協力いただいたのは、株式会社カーグリーンコマゼン(愛知県弥富市)の各務さんと丹羽さんです。



**各務さん：勤務年数15年**

**主な担当業務：自動車リサイクルシステム移動報告及び入庫手続き**

絶対音感がありピアノ調律師の資格があるそうです。  
結婚、出産、1年育児休暇後に現場へ復帰して活躍中です！



【各務さん】

## ■自り士を取ろうと思ったキッカケは何ですか？

廃車の手続きやリサイクルシステムに関する事務処理に10年以上携わってききましたが、「そろそろ自り士受けてみたら？」と上司に薦められ、私自身更にステップアップもしたかったため受講をしました。

## ■講習会を受けてみてどうでしたか？

パソコンで好きな時に受講出来たので、子育てで時短勤務している私でも普段の業務の合間に動画を見て、試験を受けることが出来たのが良かったです。もし、会場での受講が必要だった場合は恐らく参加することは出来ませんでした。

## ■資格を取得した後で変わったことはありましたか？

普段の社内業務の決まりごとが、(法律など)何に基づいて決まっているのかをよく理解をして業務に取り組むことが出来るようになりました。

## ■資格を実際に活かせる場面はありましたか？

社内での書類を作成する時に、正しい知識をもって改良点などを発言出来るようになりました。また、車輛の取り扱いに困った時、自動車リサイクル士のテキストも活用しつつ正しい指示を出すなどより自信を持った対応が出来るようになりました。



**丹羽さん：勤務年数12年**

**主な担当業務：自動車解体及び輸出**

高校卒業後に入社、弊社初めての社内恋愛で結婚。現在、小学生のお子さんを持つヤングパパ。  
夢は「社長になること」、様々な業務をこなす、やり手中堅社員です！



【丹羽さん】

## ■自り士を取ろうと思ったキッカケは何ですか？

上司から薦められたことがキッカケでしたが、私自身もこの講習会に興味があったので受講をしました。

## ■講習会を受けてみてどうでしたか？

会場での講習を受ける必要がなくWEBを使って受講が出来たため、自分の好きな時間に自分のペースで見ることができ、自分自身の理解も進みやすかった点が良かったと思いました。

また、講習会の説明も分かりやすく、とても覚えやすかった印象です。

## ■資格を取得した後で変わったことはありましたか？

以前は特に何も考えずに行っていたフロン類の回収やエアバック類の展開など現場で行う作業の重要性が理解出来るようになったことに加えて仕事に対するモチベーションが上がりました。

## ■資格を実際に活かせる場面はありましたか？

一緒に仕事している方々と正しい知識をもって意見や情報の交換が出来るようになり自信がつけました。



## 一般社団法人 日本自動車リサイクル機構 第11回 景況調査報告 2023年1～3月期(概要版)

経常利益6.2ポイント低下 マイナス61.2と厳しく

### 【調査要領】

- ①調査時:2023年3月17日(金)～3月31日(金)
  - ②対象企業:日本自動車リサイクル機構会員企業
  - ③調査の方法:FAX・Web の送受信による自計記入を求めた
  - ④回答企業数:469社のうち134社(28.6%)から回答を得た(うち、有効回答数 134)
  - ⑤平均従業員数:役員を含む正規従業員数 32.6人(前回39.9人)  
派遣社員・臨時・パート・アルバイトの数 10.9人(前回 9.3人)
- ※DI 値(DI : Diffusion Index) 「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたもの

経済・経営環境が変化するなかで、本調査結果が企業経営の羅針盤となればと考える。今後も、ご回答への協力を頂ければ幸いです。なお、本文中の「△」はマイナスを意味する。

### (1) 概況 (業況判断・売上高・経常利益・資金繰り)

2023年1～3月期の、業況判断、売上高、経常利益、および資金繰りについて、前年同期(2022年1～3月)との比較が図1から図4である。回答者が「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたDI値は、業況判断が△56.7(前回△58.6)、売上高が△34.3(前回△26.4)、経常利益が△61.2(前回△55.0)、および資金繰りが△27.6(前回△21.4)であった。

図1 前年同期(22年1-3月)比 業況判断:DI値△56.7

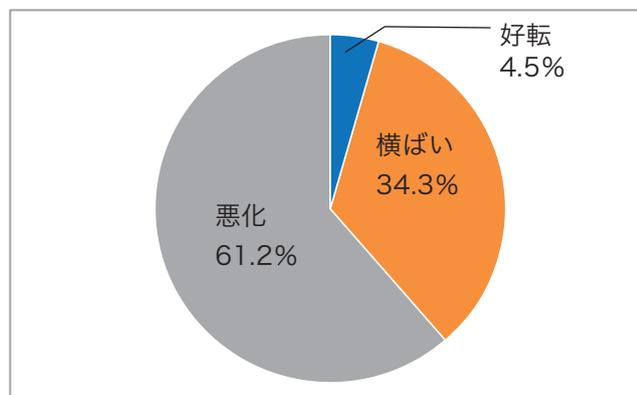
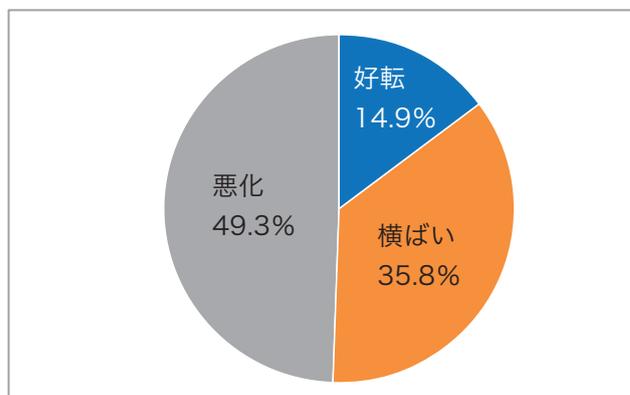


図2 前年同期(22年1-3月)比 売上高:DI値△34.3



注：グラフ値から算出したDI値は端数処理により差異がございます。

図3 前年同期(22年1-3月)比 経常利益:DI値△61.2

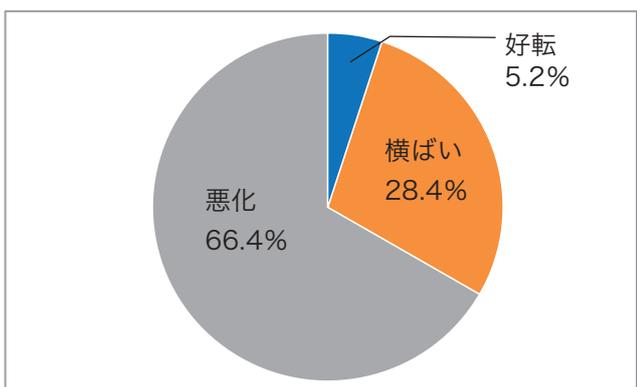
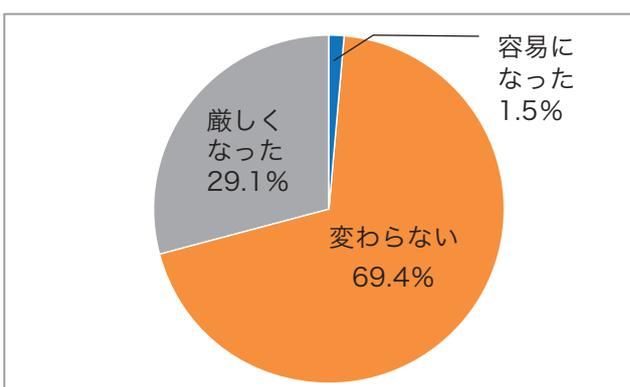


図4 前年同期(22年1-3月)比 資金繰り:DI値△27.6



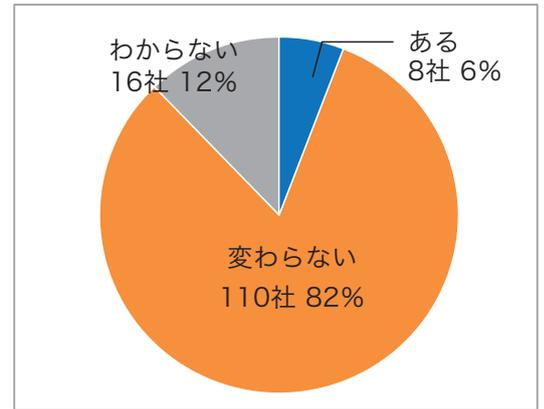
## (2) 金融機関の姿勢変化の有無と内容

2023年1～3月期の金融機関の姿勢変化の有無について、「ある」が8社・6%（前回4社・3%）であり、「変わらない」が110社・82%（前回113社・81%）であった（図5参照）。さらに、姿勢変化の具体的な内容を複数回答可で質問したところ、新たな貸し渋り4社（前回1社）、貸付攻勢2社（前回1社）、追加担保要請1社（前回無し）であった（表参照）。

表 金融機関の姿勢変化の内容（複数回答可）

新たな貸し渋り	4社
貸付攻勢	2社
追加担保要請	1社

図5 金融機関の姿勢変化

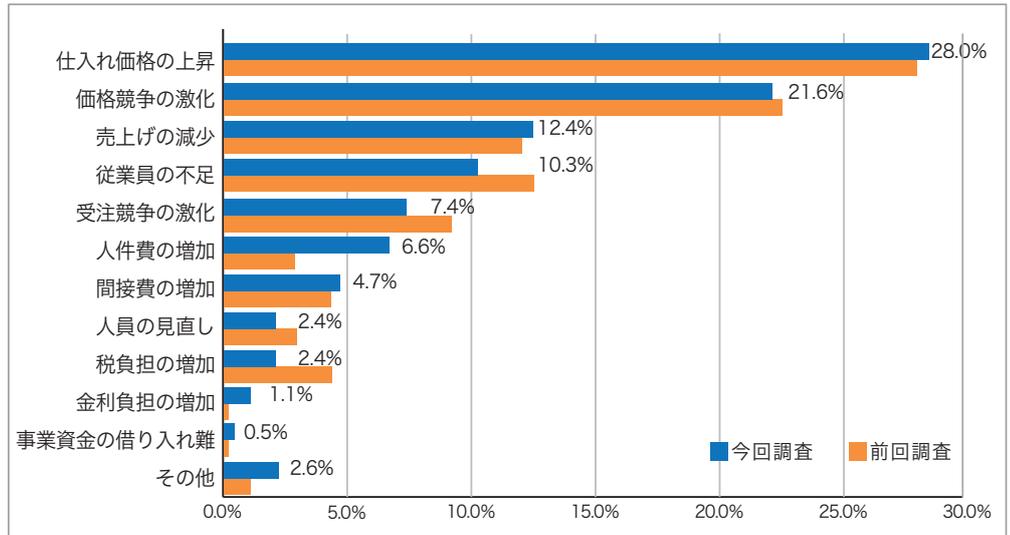


## (3) 経営課題と取り組み等

### ①経営課題

2023年1～3月期において、経営上の課題として深刻なものは、仕入れ価格の上昇（106社・28.0%）、価格競争の激化（82社・21.6%）、売上げの減少（47社・12.4%）が上位であった（図6参照）。

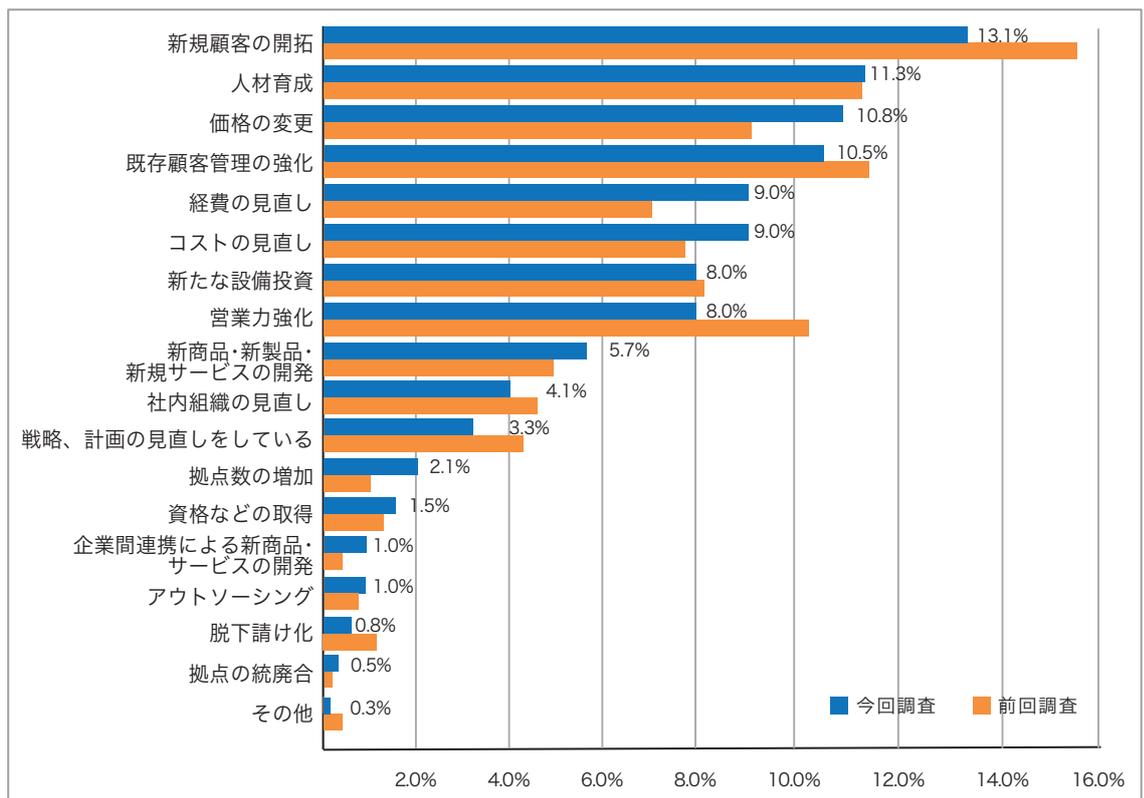
図6 経営上の課題（上位3つまでの複数回答）



### ②現在の取り組み

2023年1～3月期において「現在取り組んでいること」は、上位から、新規顧客の開拓（51社・13.1%）、人材育成（44社・11.3%）、価格の変更（42社・10.8%）、であった（図7参照）。

図7 現在取り組んでいること（上位3つまでの複数回答）



### ③お困りごと、ご意見等の自由記述

自由記述として以下の回答があった。※原文のママ掲載 ※「特になし」の回答を除く

- ・仕入れ高騰。
- ・社会保険料を含む税負担を軽減してほしい。特に消費税。
- ・新車の納期遅れが入庫台数に大きく影響していると思われます。
- ・移転って大変ですね。

#### ■事務局より

次回2023年4～6月期の調査につきましては、2023年6月後半で予定しております。皆様、引き続きご協力の程お願いいたします。また、今回の調査結果の詳細については、以下の「第11回景況調査報告 2023年1～3月期報告書」をご参照ください。

報告書版はこちら→ <https://www.elv.or.jp/media/20/20230420-keikyol1.pdf>

## ブロック会議の開催結果

# 03

### 関東ブロック会議の開催結果

日時：2023年4月11日（火） 場所：機構事務局会議室（対面+WEB）

今回は東京新橋の機構事務局にて対面とWEBのハイブリッド形式での開催となり、機構本部からは酒井代表、木内副代表、事務局が参加し、総勢13名での会議となりました。

「入庫台数が低調で、市場では激しい価格競争が行われているという状況が続いている」という内容の報告が各支部共通しており、使用済自動車の仕入れ方法の転換を余儀なくされる方、副業を行う方、他の業種への変更を検討している方など、非常に厳しい状況が続いている中を乗り切るため皆がアクションを起こしているといった話がありました。

また、今年始まった電子車検証についても議題に挙がりました。所有者情報や車検満了日などは車検証に付いているICチップを読み取らないと確認が出来ず、抹消依頼や買取りの際に所有権の有無を確認出来ないため仕入れに大きな支障を及ぼす可能性があること、また、今後3年間は所有者情報などが記載されている「自動車検査証記録事項」の発行が電子車検証と同時に行われますが、その発行が終了した時にこの問題が更に肥大化することが予想されるため、早期の改善を要望する声が多く上がっていました。



### 中部・北陸ブロック会議の開催結果

日時：2023年4月18日（火） 場所：ハートフルスクエアG 中会議室（対面）

1年ぶりとなる対面でのブロック会議ということもあり、各県の代表者のほか、多くの会員の皆様が一堂に会することが出来ました。機構本部からは酒井代表理事、木内副代表理事、奥野事務局長が参加し、総勢20名が揃ったことで、やや緊張感のあるスタートとなりましたが、会議が始まるとともに活発な意見交換が行われる会議となりました。

特に人材難、若手の雇用についての質問に対しては、参加者各社の取り組みを共有いただきました。入りたくなる組織づくりや、社員にとって居心地が良く辞めないような組織づくりなどの取り組み、特に社内に委員会を設置して予算の割り当てを社員に任せるといった取り組みの紹介については皆様の興味を惹いていたことが印象的でした。

その他、最近話題となっている樹脂のリサイクルについても参加者全員が大きく関心を持たれていたため、次回のブロック会議では、樹脂のリサイクルの取り組みを先行して行っているKMI株式会社への見学会を計画することとなりました。



# 2022年度駆動用HVバッテリー共同出荷事業 3月出荷状況と今期累計

# 04

上段 3月出荷数 下段：今期累計【単位：個】

参加会社数 (社)	プリウス 20	プリウス 30	プリウスα41	レクサス CT200H	アクア /ヴィッツ	カローラアクシオ /フィールダー	クラウン HV GWS204
22	16	30	1	1	33	1	1
95	241	585	17	7	487	7	31

クラウン HV AWS210	SAI/レクサス HS250H	日産デュトロ /ブルーリボン	ノア/ヴィクシー /エスファエア	シエンタ HV	プリウス 50	不良品 A-C	合計
0	0	0	4	2	0	12	101
27	27	29	16	8	5	129	1,616

※2023年度も事業を継続いたします。

□2022年度・2023年度事業説明資料は以下のURLをご参照ください▼

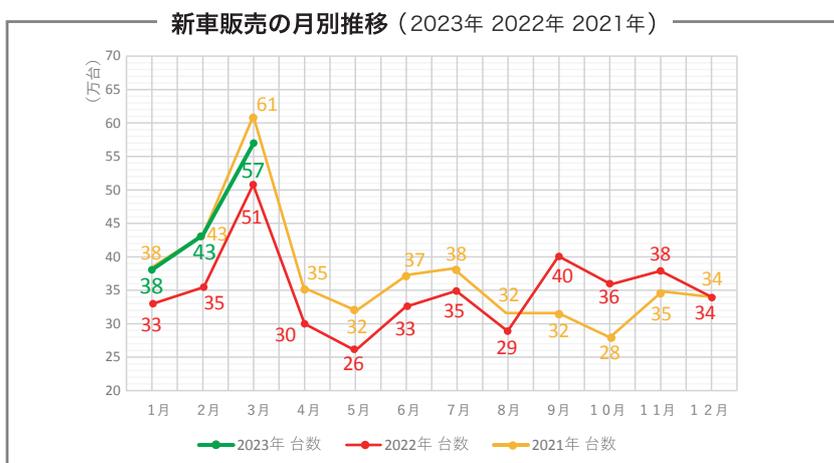
<https://elv.or.jp/index.php?itemid=1853>

## 3月新車販売・使用済自動車発生台数

～3月の使用済自動車発生台数 前年同月比3.1%減～

# 05

### ■2023年3月度 新車販売台数 572,494台 (前年同月比111.6%)

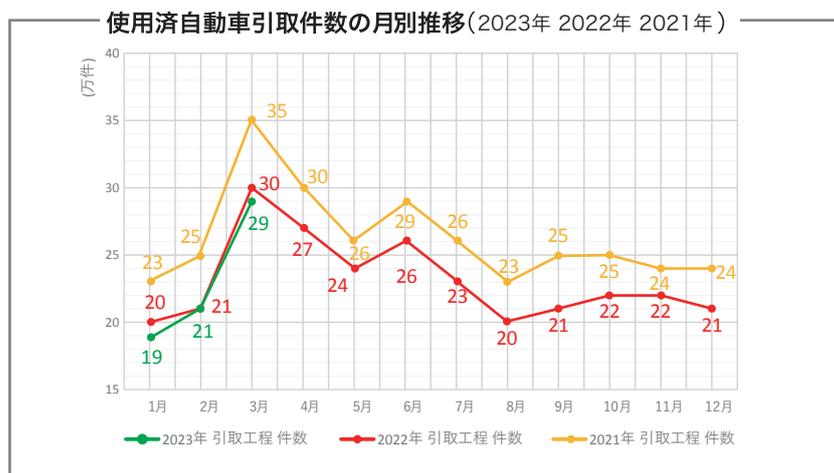


過去の自動車販売台数推移

年累計	台数	前年比(%)
2023年	1,381,558	115.4
2022年	4,201,320	94.4
2021年	4,448,340	96.7
2020年	4,598,615	88.5
2019年	5,195,216	98.5

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

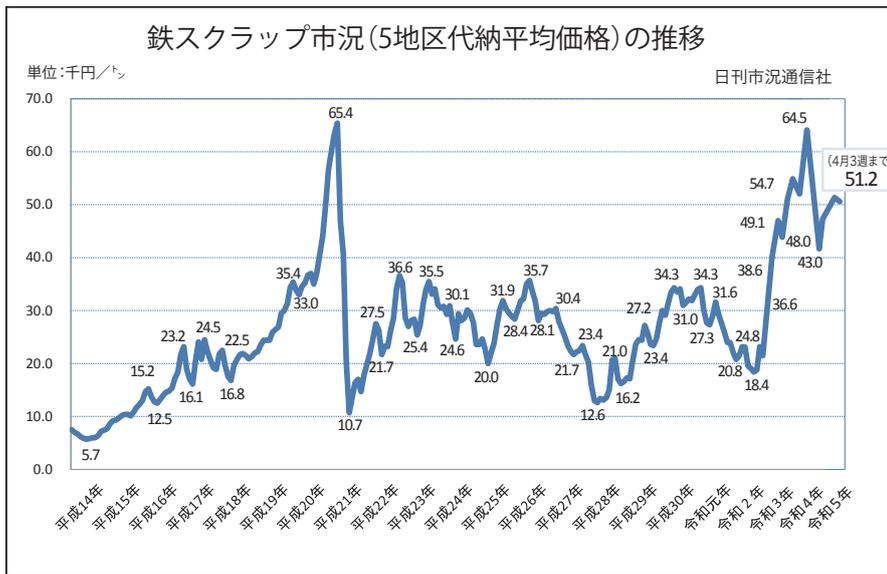
### ■2023年3月度 使用済自動車引取(電子マニフェスト)実施状況



引取件数
291,033件 (前年同月比 96.9%)
フロン回収工程
255,610件 (前年同月比 96.5%)
解体工程
291,066件 (前年同月比 97.6%)

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

## 4月第4週(21日)の鉄スクラップ動向



## 3月27日の国内スクラップ炉前実勢価格(中心値)

		H2	気配
関東	北関東	49,000～50,500	続落
	南関東	49,000～50,500	続落
	浜値	48,000～49,000	続落
名古屋		49,500～51,500	続落
関西	大阪	49,000～50,500	続落
	姫路	50,000～50,500	続落

国内鉄スクラップ相場、海外安を受け続落  
東京製鉄、21日より500～1,000円値下げ

国内市場の鉄スクラップ相場がさらに続落する展開となった。メーカー筋の間に4月21日から購入価格を概ね500～1,000円値下げする動きが広がり、全国的に値下がりした。

韓国・現代製鉄が4月19～20日に実施した日本産鉄スクラップの新規スポット入札で20日朝にビッド価格を提示し、H2を1トあたりFOB48,800円、H1&H2を同49,300円、HSを同52,300円とした。4月6日実施分の前回価格からいずれも1,000円の値下がり。輸出が多い関東地区をはじめ主要地区のH2相場をなお下回る結果で、これに対応する格好で電炉筋が追加値下げを実施した。

東京製鉄は4月21日付で宇都宮工場の鉄スクラップ購入価格を全品種1,000円、その他の拠点の購入価格を全品種500円値下げした。これを受けて、国内電炉各社に値下げ改定が広がった。

国内電炉の購入価格が輸出値や浜値に対して優位さを保っている一方、海外は基調の弱さが継続。台湾向けやベトナム向けの交渉価格の続落のほか、米国国内のヘビー類の急落、新規成約が聞かれず気配値が小幅に下がり続けているトルコ向けHMS価格の動きなども、輸出価格が振るわない遠因となっている。

## 【関東地区】 メーカーや商社の間に値下げ広がり500～1,000円続落

関東市場で21日、鉄鋼各社や湾岸商社・シッパーの間に鉄スクラップ購入価格を500～1,000円値下げする動きが広がり、関東相場は続落した。電炉筋は荷受制限で入荷量を調整するなど慎重な値下げ対応を見せていたが、輸出価格が続落したことを受けて、追加値下げに踏み切った。H2炉前実勢価格は49,000～50,000円中心、高値50,500円見当。H2浜値は48,000～48,500円中心、高値49,000円見当となった。

## 【東海地区】 4月21日から500～1,000円がたの再度の値下げが一巡

名古屋地区の主要電炉各社は4月21日から一斉に鉄スクラップの購入価格を引き下げた。下げ幅は5社が一律500円、1社が一律1,000円。東京製鉄・田原工場は21日から500円値下げし、特級価格は陸・海上共に51,500円となった。4月中で3回目の値下げ。地場電炉の他社は東京製鉄に先行して値下げを行っているものの、全社が同日から追加値下げへ動いた。H2炉前実勢価格は49,500～51,000円、一部高値51,500円に続落した。

## 【西日本地区】 21日に全面安後も下落圧力残る展開

西日本地域の鉄スクラップ市況は全面安の展開となった。21日から全社が下げ改定へ踏み切った後も、域内需要は振るわず、海外市場にも底入れの兆しが見えてこないため、下振れ懸念が残ったままだ。ただ大型連休後には域内需要が回復する、との声も聞かれる。H2炉前実勢価格は、大阪地区が49,000～50,000円、一部高値50,500円、姫路地区が50,000～50,500円。九州及び山口地区が51,500円中心へと、各地区とも500円下落した。

(※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、4月21日午後時点のもの)

## — 5月の主な行事予定 —

- 5月9日 (火)
  - ・ 第2回 広報部会 (WEB)
  - ・ 第2回 常任役員会 (WEB)
- 5月15日 (月)
  - ・ 第1回 理事会 (WEB)・会計監査
- 5月18日 (木)
  - ・ J-FAR (樹脂リサイクル社会実装事業) 定例会 (WEB)

※ 急遽、日程変更・延期の場合がございます。

## お知らせ

### ～自動車再資源化協力機構より～ エアバッグ類 車上作動処理業務に関する現地監査へのご協力のお願い

今年度もエアバッグ類不適正処理の撲滅、安全対策の実施状況等の確認を行うべく、自動車再資源化協力機構（以下、自再協）および自再協が委託した監査人（株式会社 矢野経済研究所、株式会社 日産クリエイティブサービス）による**無通知**※での現地監査を実施いたします。一部の方におかれましては、国や自治体による立入検査も実施されるため、監査・検査の受け入れおよび円滑な進行にご協力いただきますよう、よろしくお願いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、実施しておりました、訪問月の事前通知は今年度より実施いたしません。  
※現地監査にて重大な不適正事象が発覚した場合、エアバッグ類の車上作動処理は即時停止となり、当日以降は取外回収いただくこととなります。以下の自再協ホームページに資料を掲載いたしますので、必ず事前にご確認いただきますよう、重ねてお願いいたします。

詳細：自動車再資源化協力機構HP▶ <https://jarp.org/news/2023/airbag230405.html>

## 編集後記

久しぶりにBS放送でゆっくりと昔懐かしいアメリカの西部劇を鑑賞しました。結末も日本の時代劇同様、悪者をやっつけるというお決まりのパターンが主流で、分かっているものの最後はスカッと見終わることが出来ます。この西部劇では、大抵インディアン(アメリカ先住民、ネイティブ・アメリカンのことですが今は“インディアン”という呼称は差別的であるとして使わなくなってきたのですが今回は使わせていただきます)が登場しますが、善良な？開拓者を襲撃するので悪者・野蛮人というイメージになってしまいました。

ところが、実はインディアンは「自然と共生して生きる」という生き方をしていたのです。インディアンは「大地は先祖から譲り受けたのではなく、我々の子孫から借りているのだ」の教えにより自分だけ、今だけ良ければと言う考えを持たずに、大地との調和を重んじる独自の文化を築いた民族でした。地球は私達の母であり、空は父であるという考え、地球に生かされ存在する全てのものと共に生きているインディアンの生き方は、昨今の「サスティナブル(持続可能な)」の取り組み、SDGsに繋がってきます。インディアンの部族では当たり前だったのでしょうか。

日本にも「全てのものに命が宿る」「八百万の神」などの自然崇拝があることから、インディアンに親近感を覚えると同時に、次回西部劇を鑑賞する時は今までとは違った楽しみ方を見たいと思います。

(広報部会長 田村 幸男)